

回心

シリーズ・パウロ
第3回



これまでのいきさつ

- イエス・キリストの十字架・復活・昇天
- 教会の誕生，宣教の開始
 - イエスは復活したメシアである
- ステファノの殉教
 - パウロは石を投げる者の服の番をしていた
- 宣教の拡大／サマリアへ
 - キリスト教は迫害によって拡大した



迫害者パウロ(サウル)

- パウロはファリサイ派に属するユダヤ教の教師であった
- パウロはイエスをメシアであると信じる教えを危険な異端とみなした
- 信者たちを捕まえて牢に送った(8:3)
 - この教えに反対していただけではなく、拡大を恐れていた



ダマスコ途上で(使徒9:1～22)

- 突然天からの光が彼の周りを照らした
- 「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた
- 「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、「**あなたが迫害しているイエスである**」と答えた
- パウロは目が見えなくなり、ダマスコで三日間飲まず食わずでいた
 - － 自問自答の期間を過ごした



遣わされたアナニア

- パウロのもとに行き祈るよう命じられた
 - パウロがどんな人物か知っていたので拒んだ
- 主は、パウロが**特別な器**であると告げた
 - 「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。」
- アナニアが手を置いて祈ると、パウロの目から**鱗のようなもの**が落ち見えるようになった
- パウロはダマスコで**宣教を始めた**！

人生の正しい方向

- 私たちが追い求めているものは正しいか
 - 自分の信念のために誰かを傷つけていないか
- 心に違和感を感じていないか
 - 意地を張ったり、自分に言い聞かせていないか
 - 何かを恐れていないか
 - パウロの心にあったステファノの最期
- 私たちの心の目は開いているか
 - パウロの目から落ちた鱗は



神は人を造り変える

- イエスとの出会いがパウロの人生を180度変えた
 - 迫害者が宣教者になった
- 人を造り変えるのは神である
 - 自分で自分を変えることはできない
- 神が造り変えられない人はいない
 - 神は祈りのサポーターを用いられる



神の声に耳を傾けよう

- ダマスコ途上でイエスの声を聞いたのはパウロだけであった
 - 周りの人々は気づかなかった
- 神は私たち一人ひとりに人生の計画をもっておられる
- 神は私たちに呼びかけておられる

